

こっこめ通信 04 2014

「風任せではいけない」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

この冬、八丈島は陸も海も寒い状態が続いていました。気温が上がらなかったことにより、園芸農家の方々は植物たちの成長が遅れ、とても苦労されていたようです。また、海は黒潮の蛇行により冷水塊が居座り、低水温が続きました。この冷たさで死んでしまった生き物もたくさんいたのではないのでしょうか？3月中旬になってやっと黒潮が戻り、暖かな海が戻ってきました。GW前にダイビング業界の方たちも一安心といったところですね。

さて、今回は「講演会『八丈小島の希少鳥類』」「テイカとサカキ、どっちがどっち？」についてのお話です。

講演会「八丈小島の希少鳥類」

3月15日、東京大学名誉教授の樋口広芳氏を講師にお招きし、講演会「八丈小島の希少鳥類」を開催しました。

始めに八丈小島のクロアシアホウドリのこれまでの経緯のお話から。昨年の春に上陸を確認し、さらに秋には再上陸、そして冬に産卵が行われるまで順調に進んでいったことを撮影した動画を交えながら紹介されました。しかしその後、期待されたヒナの姿を見る前に、大型の猛禽類と思われる何者かに捕食されてしまいました。

「今回は残念な結果になったが、『八丈小島が世界最北端のクロアシアホウドリの繁殖地になった』ことには変わりはなく、この先もまだ希望は残っている。」「そして今後の課題として、捕食者の特定と対策、新たな捕食者となり得るドブネズミの除去、継続的な監視体制の確立、立ち入り制限の実施など、クリアしなければいけない事はたくさんある。」という話もありました。

また、「八丈小島は伊豆諸島では唯一イタチが入っていない島であり、そのことが希少な鳥たちが棲める環境になっている。イタチが入ってしまった三宅島では、導入前に頂点に立っていたサシバがイタチに替わり、サシバはいなくなった。さらに捕食圧によりオカグトカゲも激減してしまい、新たにオオミズナギドリも捕食されるようになったことにより生態系が変わってしまった」ということです。

希少種の保全に際しては、生物多様性の保全を理解しておかなければならず、それは単に多くの種がいる自然を

守ることではなく、各地に固有で多様な自然を保全すること。島に外来種を持ち込めば、いずれ生態系は大きく変質してしまう。生態系全体のバランスを考えて保全していかなければいけない。

最後に「ぜひとも、八丈小島にアホウドリ類をはじめとしたいろいろな鳥たちが棲みつけるすばらしい自然の世界をつくっていききたい。それは、八丈島の今後の発展にもきっと役立つに違いない」と話されました。



八丈小島のクロアシアホウドリの経緯

2013年	4月	約30羽の上陸を確認 新たな繁殖地を求めての飛来
	6月	すべて北上し姿を消す
	10～11月	再度、上陸を始める
	12月	産卵しているようなペアを確認
2014年	1月上旬	2つがいの産卵を確認
	1月下旬～2月	12羽が何者かに襲われてしまう
	3月上旬	3羽を確認



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

テイカとサカキ、どっちがどっち？

1～4月にかけて、綿毛の付いた種がよく落ちています。これは、キョウチクトウ科のテイカカズラとサカキカズラの種子。そこで2つの植物を写真で比べてみました。右がサカキカズラ、左がテイカカズラです。



種子に付いている綿毛は種髪（しゅはつ）といい、キョウチクトウ科では先端についています。サカキ（サカキカズラ）は種子から軸のようなものがあり、そこから広がっています。テイカ（テイカカズラ）は種子の付け根から直接広がっていて、種髪のカーブも少しきついように見えます。

種子（2段目）は、それぞれの果実に合った形になっていて、サカキは薄い小判形、テイカは細長い鞘形です。



果実（3段目）は、サカキが円錐形で10cm前後、テイカは円柱形で20cm前後、サカキ・テイカ共に通常2本でワンセットになっています。

1～4月にかけて、果皮が裂開し（4段目）、中から種髪の付いた種子が出てきます。



サカキの葉は長楕円形で全縁で光沢があり、テイカの葉は楕円形で全縁、這う蔓の葉は少し違い、浅い鋸歯があります。（5段目）サカキ・テイカ共に常緑つる性木本ですが、テイカは茎から気根を出して、幹や岩場を這い上ることができます。



サカキの花は淡黄色で4～5月、テイカの花は白く5～7月に咲きます。サカキ・テイカともに花冠は5裂し、サカキの裂片は強くねじれます。また、テイカの花には芳香があります。



これから花の咲く時期、花の咲く頃から一年を通して見比べるとおもしろいですね。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は3月9日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成26年第3回）参加者：沖山、黒田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）
草本			木本			シダ植物	
1	アツバスマシ	花	1	アオキ	花	1	ウチワゴケ
2	ウスベニニガナ	花	2	アカメガシワ	赤い新芽	2	オオイタチシダ
3	ウラシマソウ	花	3	イヌビワ	実	3	オオタニワタリ
4	オオアレチノギク	花	4	オオシマザクラ	咲き始め	4	オニヤブソテツ
5	オオイヌノフグリ	花と実	5	オオバヤシャブシ	花	5	タチクラマゴケ
6	オオシマカンスゲ	実	6	カジイチゴ	花	6	タチシノブ
7	オオバコ	蕾	7	サカキカズラ	蕾	7	タマシダ
8	オニタビラコ	花と実	8	タイミンタチバナ	花	8	ナチシケシダ
9	オランダミミナグサ	花	9	トベラ	蕾	9	ナチシダ
10	カタバミ	花と実	10	ハチジョウキブシ	花	10	ノキシノブ
11	カラクサガラシ	花と実	11	ヒサカキ	花	11	ハカタシダ
12	キランソウ	花	12	ビロードカジイチゴ	花	12	ハチジョウカナワラビ
13	コシロノセンダングサ	花と実	13	ホウライカズラ	実の虫コブ	13	ハチジョウシダ
14	シチトウスミレ	花	14	マサキ	実	14	ハチジョウベニシダ
15	シマテンナンショウ	咲き終わり	15	モチノキ	花	15	ヒトツバ
16	スズメノカタビラ	実	16	ヤツデ	実	16	ホシダ
17	スズメノヤリ	花と実	17	ヤブツバキ	花	17	ホラシノブ
18	タネツケバナ	花と実	18	ヤブニッケイ	蕾	18	ミゾシダ
19	チチコグサ	花	19	ヤマモモ	花	19	ヤマイタチシダ
20	ツルソバ	花					
21	ツワブキ	実					
22	トキワハゼ	花と実	今回はシダ植物19種を含む70種の植物を観察しました。ウグイスのさえずりが盛んに聞こえ、桜も咲き始めていよいよ春らしくなってきました。新しく貼られた芝生には八丈島では珍しかったナズナが多くみられ、帰化植物として定着するのは間違いなさそうです。				
23	ナズナ	花と実					
24	ノゲシ	花					
25	ノジスミレ SP.	花					
26	ハキダメギク	花					
27	ハナイバナ	花					
28	ハルジオン	花					
29	ヒメカミツレ	花と実					
30	フウトウカズラ	熟した実					
31	ホトケノザ	花					
32	ヤエムグラ	蕾					

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園内でも見られる「ホウライカズラ」にスポットを当ててみたいと思います。



ホウライカズラ

Gardneria nutans

マチン科の常緑つる性木本。本州の房総半島以西、四国、九州に分布する日本固有種。6～7月にかけて葉腋から白い花を咲かせます。花は時間が経つと黄色に変わります。

公園内にもありますが、林内にあるのであまり目立ちません。

（～～カズラとは、蔓性の植物に付けられる名前です）

2014 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	清明 5 ガイドウォーク
		05 : 45 12 : 03 18 : 33	06 : 10 00 : 15 19 : 13 12 : 37	06 : 35 00 : 44 19 : 53 13 : 12	07 : 01 01 : 13 20 : 34 13 : 48	07 : 27 01 : 41 21 : 22 14 : 28
6 ガイドウォーク	7	8	9	10	11	12 ガイドウォーク
07 : 54 02 : 13 22 : 28 15 : 16	08 : 27 02 : 57 16 : 19	00 : 12 04 : 43 09 : 28 17 : 44	01 : 50 07 : 51 12 : 17 19 : 13	02 : 37 08 : 48 14 : 00 20 : 19	03 : 08 09 : 19 14 : 59 21 : 07	03 : 35 09 : 47 15 : 44 21 : 46
13 ガイドウォーク 「植物公園 季節調査会」	14	15	16	17	18	19 ガイドウォーク
04 : 00 10 : 14 16 : 24 22 : 20	04 : 26 10 : 42 17 : 02 22 : 53	04 : 51 11 : 11 17 : 41 23 : 26	05 : 18 11 : 43 18 : 20 23 : 59	05 : 46 12 : 17 19 : 01	06 : 14 00 : 32 19 : 46 12 : 54	06 : 45 01 : 08 20 : 35 13 : 34
20 ガイドウォーク	21	22	23	24	25	26 「さえずりを聞き分けよう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」
07 : 18 01 : 48 21 : 34 14 : 21	07 : 58 02 : 37 22 : 49 15 : 17	08 : 55 03 : 51 16 : 30	00 : 17 05 : 47 10 : 40 17 : 59	01 : 29 07 : 30 12 : 54 19 : 24	02 : 20 08 : 31 14 : 24 20 : 31	02 : 59 09 : 15 15 : 28 21 : 23
27 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	28 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	29 「八丈富士ハイキング」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	30			
03 : 33 09 : 54 16 : 20 22 : 06	04 : 05 10 : 30 17 : 05 22 : 45	04 : 35 11 : 05 17 : 47 23 : 20	05 : 04 11 : 39 18 : 27 23 : 53			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

4 / 13 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座

「さえずりを聞き分けよう」

毎月行っている八丈学講座。島ならではのいろいろな鳥のさえずりを聞き分けましょう！

4 / 26 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費：50円 定員：15名

GW特別行事

「八丈富士ハイキング」

みどりの日恒例の八丈富士ハイキング！1280段の階段を登り終えた後に見えるのは…

4 / 29 (9 : 30 ~ 約6時間) 八丈富士鉢巻き道路登山口集合・解散 小雨決行

小学生以上 (低学年は保護者同伴) 参加費：50円 定員：20名

GW特別行事

「バードウォッチング入門」

公園内で開催するバードウォッチング入門編。双眼鏡の使い方から始め、アカコッコを探します

4 / 26 ~ 4 / 29 (10 : 00 ~ 約1時間半) ビジターセンター集合・解散 雨天中止

小学生以上 (低学年は保護者同伴) 参加費：無料 定員：10名

GW特別行事

「体験八丈太鼓」

両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散できますよ！

4 / 26 ~ 4 / 29 (13 : 30 ~ 随時)

だれでも ビジターセンター入口にて 参加費：無料 雨天中止

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター

2014.4.1 第155号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

八丈島には、ガガイモ科の自生植物が1種（イヨカズラ）しかないので、種髪のある種子は紹介した2種に限られるので見分けがつけやすいです。サカカズラの果実はあまり見かけないのに種子がたくさん飛んでいるので見つけれないだけなんですね。(高)